

# 排水溝清掃に伴う草刈作業中の指裂傷事象【最終報】

■■■■ 事業所



## 1. 事故概要

①発生日時： 2022年8月10日（水） 天候：はれ PM14:08分頃

②発生場所： E41 東海北陸自動車道 荘川IC周り側道付近

③概要： 荘川IC周り側道付近の排水溝清掃のための草刈作業中に、誤って右手人差し指第二関節付近を鎌で切創した。

（被災者は、草刈作業中にゴム手袋を着用しており、切創用手袋を未着用であった。）

④被災者： ■■■■■ 右示指挫創（縫合 30針） 安静 3週間

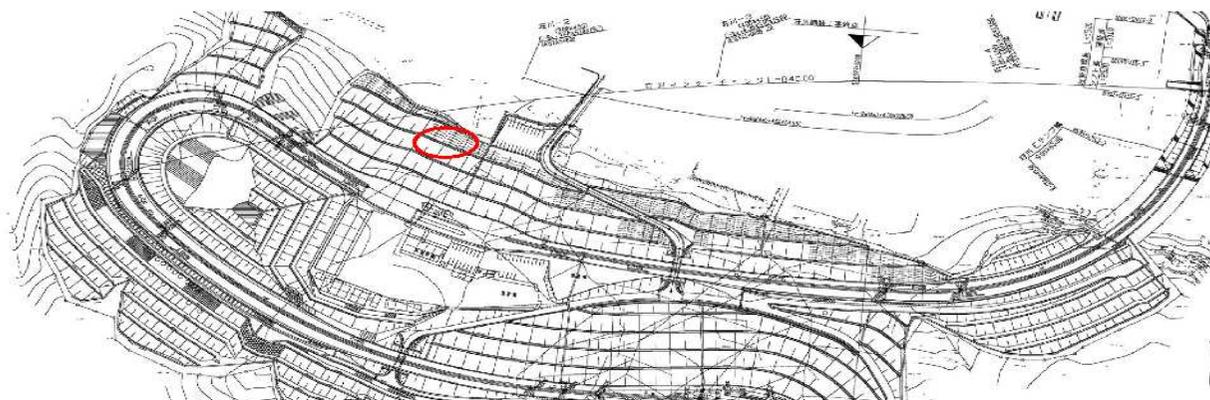
## 2. 位置図

### 事故発生位置図

2022（令和4）年8月10日（水）

14時08分

場所：岐阜県高山市荘川町猿丸



## 3. 作業状況写真



## 4. 原因

- ①排水溝清掃（ゴム手袋着用）と草刈作業（耐切創用手袋着用）を交互に実施していたため、清掃から草刈作業に切り替える際に耐切創用手袋に変更することを怠った。  
また、清掃と草刈作業の混在作業だったため、作業責任者の注意・確認が出来ていなかった。
- ②草刈作業が排水溝清掃の事前作業だったため、作業手順書の使用用具欄に「手袋」を記載していたが、「切創用手袋」の明記がされていなかった。
- ③作業員は左利きであったが、右利き用の片刃鎌を使用していた。

## 5. 再発防止対策

### 【原因①に対する対策】

- ・草刈作業は、耐切創用手袋の着用を緊急安全大会で再度周知徹底する。
- ・混在作業の場合は、役割分担を明確にすることを作業手順書に追記する。（例）草刈作業と排水溝清掃をする班を分ける作業班を工種毎に分けることにより、省略行動の防止及び作業責任者が作業班ごとに指示・安全確認ができるようにする。
- ・草刈作業を実施する場合は、作業責任者が耐切創用手袋の着用したことを確認した後に作業を実施する。

### 【原因②に対する対策】

- ・排水溝清掃の手順書に草刈り作業時は耐切創用手袋の着用することを追記をする。

### 【原因③に対する対策】

- ・左利きの作業員には、両刃タイプの鎌を導入する。  
（柄の部分に両刃であることを明示するシールを貼り付ける）

※8月12日（金）の排水溝清掃にあつては作業中止。

再発防止対策を周知後、作業再開予定。

また、類似作業（混在作業）の手順書について、今後洗い出し予定。